

日本漆喰協会

第3回作品賞

平成20年10月



作品名	小倉百人一首殿堂 時雨殿
作品の所在地	京都府京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町11
竣工	2005年9月
設計者	株式会社 竹中工務店 設計部副部長 内海 慎介
施工者	株式会社 竹中工務店 作業所長 中元 修
左官	株式会社 白井 代表取締役 白井 善彦

<講評> 京都商工会議所創立120年記念事業の一環として設立された、小倉百人一首文化財団の中核施設。漆喰、チタン、瓦等の新旧のモノトーン素材が、周囲の嵐山や保津川の風景と一体化しており、心地よい。純白の漆喰と、蔀戸風の化粧格子、そして寄棟屋根による外装が普遍的な日本の美をつくりあげた。漆喰ならではの素朴で柔らかな質感が、現代的な和風意匠にきわめて適合すると実感できる作品である。



作品名	CASA DE ATRIO
作品の所在地	東京都杉並区高円寺北2丁目
竣工	2004年9月
設計者	丸山保博建築研究所 丸山 保博
施工者	共立工業 株式会社 代表取締役 阿佐美 秋雄
左官	有限会社 巨摩建装 代表取締役 井上 良男

<講評> 中庭をもつ東京まちなかの集合住宅。自然素材にこだわり、内外壁すべてを漆喰で仕上げた。各部屋の内壁は白漆喰、外壁は漆喰に土と石を混ぜ合わせて塗ってある。その素材感はもちろんのこと、漆喰と土・石だけでこれだけの耐久性をつくりあげた設計・左官の力量は特筆に値する。入居希望者が多く、人気の物件とのこと。現代人の心をひきつける、自然素材でくまられたこの建築は、まさに都会のオアシスというべき作品である。

3



作品名	加藤 信吾 邸
作品の所在地	東京都練馬区西大泉 4 丁目
竣工	2008年4月
設計者	株式会社 シティ環境建築設計 代表取締役 高橋 昌巳
施工者	加藤 信吾
左官	加藤左官工業 代表 加藤 信吾

<講評> 埼玉にあった店蔵を解体し、東京練馬区にて再築した建築である。江戸黒漆喰磨き壁と土佐漆喰による水切り瓦やなまこ壁 — 漆喰を代表するふたつの伝統的技法が組み合わせられた、伝統の中に創造を見出す、意欲的な作品である。また、川越市などに多く残る粋な黒漆喰と、南国高知の土佐漆喰の対比が、面白い。この作品を見れば、伝統的な技法であっても、新鮮でモダンな表現ができることを実感できるはずだ。

4



作品名	自然素材の家
作品の所在地	東京都江戸川区西小岩 2 丁目
竣工	2007年8月
設計者	ARCHI-CONNGE 一級建築士事務所 代表 橋本 沢子 ものづくり大学 准教授 三原 斉
施工者	株式会社 伊藤工務店 代表取締役 伊藤 忠良
左官	柏田工業 株式会社 代表取締役 柏田 健二

<講評> 室内壁・天井・吹き抜けすべてを純白の漆喰壁で仕上げた個人邸。施主・設計からの要望は、見切り縁・廻り縁等を一切用いない連続面だったという。この要望に応え、美しいシームレスな白壁をつくりあげた左官の技術、使用された漆喰は素晴らしい。ひび割れも見受けられない。平滑で純白な白壁が住む人にとって心地よく、心休まるものであると感じさせてくれる、見事な漆喰壁である。



作品名	国指定 重要文化財 県政記念館 (県議会旧議事堂) (修復)
作品の所在地	新潟県新潟市中央区一番堀通町3-3
竣工	2006年9月
設計者	財団法人 文化財建造物保存技術協会
施工者	株式会社 田中組 代表取締役 田中 康一
左官	株式会社 古泉工業 代表取締役 古泉 修也

<講評> 旧・新潟県県議会議事堂であるこの建物は、昭和44年重要文化財の指定を受け、今回外壁漆喰を木摺下地から全面修復した。明治前期の創建当時にしたがった工程・材料で施工された白壁は、往時をしのばせる見事な出来栄である。軒・ひさしの出がなく、雨がかりの激しい漆喰外壁だが、ひび割れもほとんどない。漆喰の大壁と精緻な漆喰蛇腹 — 左官がつくりだすその妙が西洋建築の魅力であると感じられる。



作品名	すみや亀峰菴 おくどさん
作品の所在地	京都府亀岡市湯の花温泉
竣工	2006年7月
設計者	株式会社 石井建築事務所 すみや亀峰菴
施工者	株式会社 間組
左官	しっくい浅原 浅原 雄三

<講評> 紅柄磨き仕上げの竈、これを職人の手で作っていると思う人が、果たして何人いるだろうか？艶やかな漆喰磨きによる曲線美、緻密な仕上げの中にも温もりが伝わる仕上がり肌、化学品では表現できない奥深い紅色、いずれをとっても、日本が世界に誇る「左官」の美しさと言っていい。いつの時代にも伝承し残していかなければいけないものがある。左官がつくる竈はまさにそのひとつである。そう心底感じさせてくれる一品であった。

7



作品名	長屋門のある土蔵（改修）
作品の所在地	山梨県甲州市勝沼町山1463
竣工	2007年6月
設計者	デザインワークス 辻一級建築士事務所 辻和政
施工者	株式会社 三心
左官	株式会社 三心

<講評> 庄巻の一言、威風堂々としたその佇まいは、まさに「漆喰建築」というべき素晴らしい作品である。百年以上前に立てられた長屋門を柱と梁だけ残して解体し、木舞を組み、土壁から塗り直した。白壁の美しさはもちろんのこと、特筆すべきは海鼠壁である。盛りのよい漆喰は、寸分の狂いもない精緻な曲線美。とても人間技とは思えない。受け継がれる匠の技と左官の情熱が作り上げた名品である。

8



作品名	白亜の殿堂
作品の所在地	熊本県熊本市下江津7丁目
竣工	2006年12月
設計者	剛建築構造設計 福島 剛史
施工者	株式会社 沢工匠
左官	山川工業 山川 静二

<講評> 普通の住宅である。そのごく普通の住宅に内装ばかりか、外装まで全面漆喰仕上げにしている。健康的機能を尊重しての内装だけでなく、意匠としての外装に漆喰を全面に採用している意義は大きい。純白の平滑な漆喰外壁が現代住宅にも魅力的な意匠であることを、この作品が見事に実証している。街並みになじみ、行き交う人の心をもほっとさせるような、やさしく深みのある白壁であった。



作品名	浜田山の家（増築）
作品の所在地	東京都杉並区浜田山3丁目
竣工	2008年3月
設計者	有限会社 アトリエハル 二宮 晴夫
施工者	藤孝建設 株式会社 佐藤 照秋
左官	有限会社 藤田左官工業 藤田 哲也 本田 匠

<講評> 漆喰に土と骨材を混ぜ合わせ、仕上げ方を工夫することにより、オリジナルの趣きある仕上がりになっている。漆喰という素材、そして左官仕上げの裾野の広さを実感できる作品である。漆喰の部屋は心地いい、漆喰のよさは実際に住んでみて触ってみてこそ本当にわかる、この家に入ると素直にそう思える。素材のもつ力を感じることができる。



作品名	富士・詩人のいえ
作品の所在地	静岡県富士市今泉
竣工	2007年6月
設計者	有限会社 薩田建築スタジオ 薩田 英男
施工者	株式会社 加藤工務店 加藤 修一
左官	渡辺 真左志

<講評> 「土壁下地の漆喰壁」「連続した通し柱」「置屋根」といった伝統的な蔵の工法を、現代住宅に転用した意欲作である。設計・工務店と左官による知恵と技術・熱意の結晶といってよい。大地震が懸念されている地域であるため、建築基準法上も構造に要求される安全率が他地域より高い。この作品はそれをクリアし、蔵の木構造の安全性を確認した。伝統的工法が、地震国・日本でも十分に対応できることを知らしめた事実は大い。

11



作品名	立川市 萬田邸 土蔵 (復元)
-----	-----------------

作品の所在地	東京都立川市柏町3丁目
--------	-------------

竣工	2007年10月
----	----------

設計者	—
-----	---

施工者	小松左官工業 代表 小松七郎
-----	----------------

左官	小松左官工業 代表 小松七郎
----	----------------

＜講評＞ 曳いた上で大改修した創建110年の土蔵。家紋から水切、外壁まですべて漆喰仕上げ。その上、既存の大阪戸を解体し、観音扉を一から作り上げ復元した。縦縄、横縄を伏せ込み、土蔵の伝統的技法に忠実につくられている。ムラのない透き通った漆喰面の輝き、入隅・出隅の見事なまでの直線の美しさ、皆無と言ってよいクラックのない仕上がり、職人の技量の高さには頭が下がる。伝統的左官のいろはをすべて堪能できる作品である。

12



作品名	縁の家
-----	-----

作品の所在地	静岡県掛川市中1100
--------	-------------

竣工	2007年4月
----	---------

設計者	積水ハウス 株式会社 商品開発部 仲野成彦
-----	--------------------------

施工者	積水ハウス 株式会社
-----	------------

左官	有限会社 桜工業
----	----------

＜講評＞ 大広間を中心に室内壁全面と大天井に吹き抜け、漆喰の家といってもよいほど、ふんだんに漆喰を多用している。日本の建築美・漆喰が伝統の枠を越え、これからの日本住宅においても欠くことのできない素材であることを実感できる。昔も今も、日本の美しい建物には漆喰がよく似合う。古くて新しい素材・漆喰の可能性を気付かせてくれる、非常に好感の持てる作品である。

過去5年以内の国内の漆喰やドロマイト
プラスターを使用して創作されたものの中
から日本の伝統的な不燃建築仕上げ材であ
る漆喰の普及、技術の向上を図り、安全で
環境と人に優しい漆喰工法による建築文化
を後世に継承して行くための一助となるこ
と、併せて漆喰関連業界の発展に寄与する
ことを目的とし、社会的、文化的見地から
特に優秀と認められる漆喰を使用した作品
の表彰を行う。



日本漆喰協会

事務局 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-21 新虎ノ門実業会館9F
TEL 03-3504-1601 FAX 03-3593-1604